

1. タイトル （1行概要、32文字以内）

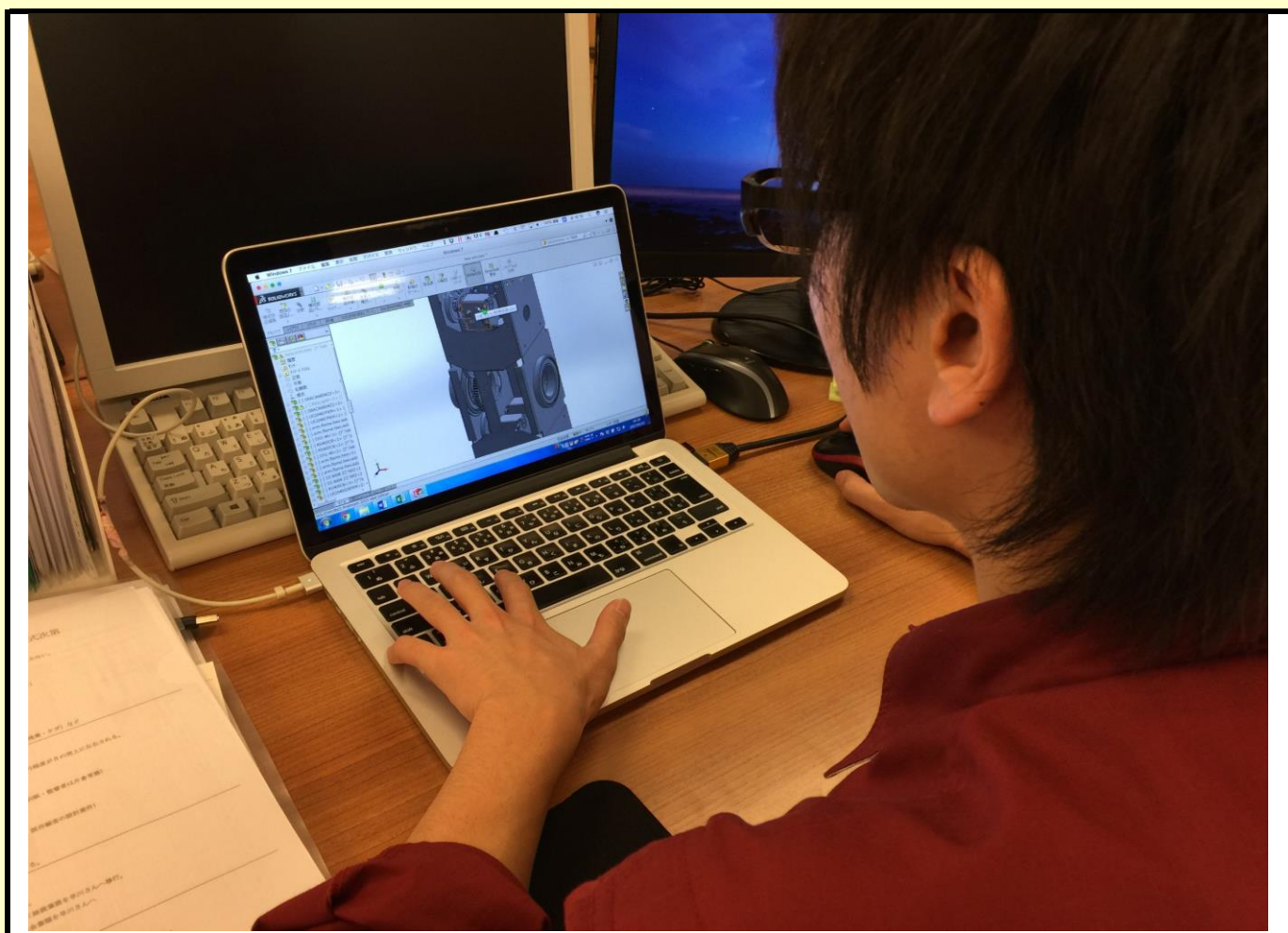
3DCADをクラウド環境で離れたところから利用可能に

2. 実現した内容（実現する内容）

当社は板金加工を中心とした金属加工による部品製造や機械装置の設計開発業務を行っている。設計開発では3DCAD等のソフトウェアを利用している。これらを使用するには、一般的なオフィスソフトを動作させるPCのスペックでは足りず、ハイスペックなデスクトップ式のワークステーションを使用する必要があり、場所も設計者の机に限定されている。

また、設計に関して客先での打ち合わせや工場内で確認を行う場合、3DCADのデータを参照することが必要である。その際、3DCADを設計者の机以外の場所で利用することができないために、3DCADデータを何枚もプリントアウトした紙媒体を多く用いている。そのため、データ修正や改編の度に紙とCADを行き来しなければならず膨大な手間が発生していた。また、修正ミスが起こる可能性も高い。さらに、3D形状の細かいニュアンスを伝えることも難しく、互いのイメージの摺り合わせや共有にも多くの時間を費やしていた。

こうした課題を解決するため、当社では、富士通社製「FTCP Remote Desktop」を活用することにした。本ソフトによって、一般的なノートパソコンで社内に設置してあるハイスペックPCを高性能のままにリモート操作できるようにし、客先や工場内など、遠隔地のどこからでも社内の3DCADソフトを利用して設計データの確認や修正をできるようにした。

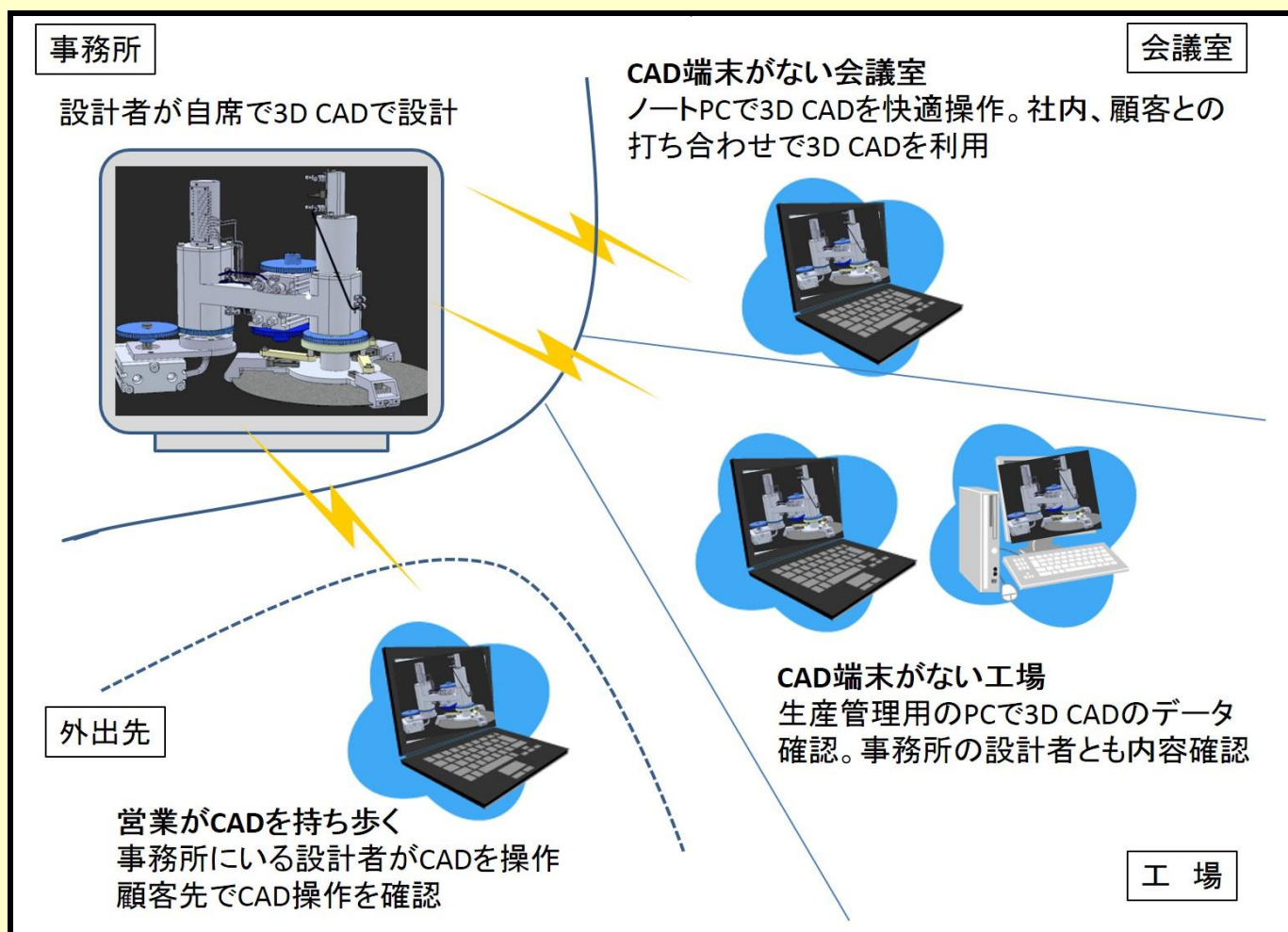


3. 効果およびメリット

第一に、客先に出向き、実際の設計データ(3DCADデータ)をもとに顧客と打ち合わせを行うことが可能になった。遠隔で社内のハイスペックなデスクトップ式のワークステーションで動作する3DCADを操作しながらCADデータの細部まで確実に確認をすることができるようになった。そのため、顧客と設計者との認識の食い違いを最小限に抑えることができるようになった。さらに、打ち合わせの結果挙げた修正ポイントは、簡単なものであればその場で修正し、顧客の了承を得ることができるようになり、設計業務のスピードアップに繋がっている。

第二に、工場内のどこからでも3DCADを操作してCADデータにアクセスできるようになった。そのため、設計担当者と製造のスタッフが工場内で3DCADを見ながら打ちあわせを行うことや、製造担当者が3DCADで製品細部の設計情報を確認しながら実際の製造を行うことが可能になり、作業効率が大幅に向上した。

第三に、情報セキュリティの面から見ても、データそのものや紙媒体を持ち運ぶ必要がなくなったことで情報漏洩のリスクを最小限に抑えた形で外部での設計対応が可能になった。



4. 事例紹介WebサイトのURL

5. 分類

1) ケース分類①（目的）

- ☐ 設計～開発～製造のデジタル化
- ☐ 生産工程の見える化・最適化
- ☐ 販売情報の活用～マーケティング
- ☐ データ活用によるサービス・ソリューション提供
- ☐ 組織を超えたデジタル化による企業間連携
- ☒ その他

ケース分類②（場面別）

- ☒ 開発工程
- ☐ 検査装置/道具/部品
- ☐ 設備/設備間連携/工場内生産管理
- ☐ 遠隔監視/工場間連携
- ☐ サプライチェーン/ものづくり支援
- ☐ 顧客サービス/マーケティング

2) 企業規模分類

- ☐ 小規模企業：1-20人
- ☒ 中小企業：21-300人
- ☐ それ以上：301人以上

3) 地域分類（都道府県）

6. 申請者の問い合わせ先

1) 企業・組織名

2) 住所

3) 電話番号

4) メールアドレス

5) ホームページ

6) 関連企業・組織名（複数組織での申請の場合）

以上